

# 富山県高P連会報

第 111 号

2014.9

編集発行

富山県高等学校PTA連合会  
発行人 会長 牧田和樹  
富山市千歳町1-5-1  
富山県教育記念館41号  
TEL 076(432)2810  
FAX 076(432)1501



## 生きるとは、働くことなり

富山県高等学校PTA連合会  
会長 牧田和樹

昨年、富山経済同友会海外教育事情視察でドイツ、オーストリア、チェコの複線型教育制度を学ぶ機会を得ました。ご存じの通り戦後の日本はアメリカと同じ単線型教育制度を取り入れていますが、両者の比較はとりわけ教育界と経済界の連携について非常に興味深い示唆を与えてくれました。そしてそれは「なぜ教育は必要なのか」という根源的意義を小生に考えさせることとなりました。

一九九六年の中央教育審議会において初出以来、お題目のように唱えられてきた「生きる力」を育むことは新学習指導要領の理念でもあり、教育が生きるために必要だということとを明らかにしていますが、そもそも「生きる」とはどのようなことでしょうか。生物学的にとらえれば食べることと寝ることができれば生きた

れるのですが、そのための必要最低限の収入を手に入れることが前提となります。加えて、人と人との間に形成される人間社会に属しているの、人にはそれぞれ心があるゆえ他者との関係を構築できるようにならなければ生きられません。現実このようなことから特別なことがない限り、起きている時間の大半を働くことに費やしているのです。生きる力とは働く(ための)力と置き換えることができそうです。

小生の拙い経営経験で会得した働く力の基本要素は、責任感、コミュニケーション能力、専門性(知識と経験)の三つであり、複線型教育制度では働き始める時期を選択できることから、専門性(特に経験を必要とする職種)の習熟成果を早期に上げることに成功しています。その陰

### 平成26年度定期総会開催

6月3日富山電気ビルにおいて、平成26年度県高P連の定期総会が220名の参加を得て開催され、新役員が次のように選出されました。

顧問 毛利 一郎

会長 牧田和樹(富山中部)

副会長

石崎清孝(魚津) 尾上一彦(富山)

越田喜規(高岡) 水上幸俊(砺波)

佐倉正樹(高岡)

会計監査

澤田正嗣(桜井) 野村竹伸(高商)

P側理事

山口泰弘(滑川) 富川義之(上市)

織田伸一(富工) 新村知弘(富商)

平尾智胤(富東) 土屋克志(高西)

萩山峰人(氷見) 藤井栄治(砺工)

余西一広(福野) 大沼宗義(石動)

T側理事

國香正稔(魚津) 開 宣之(滑川)

木下 晶(富山) 川腰善一(富中)

黨流正博(富工) 藤井修二(高西)

石黒 進(高商) 森田慎一(氷見)

清水 稔(砺波) 竹田 誠(福野)

海苔由宏(高岡高等支援)

幹事

西脇清史(魚工) 稲澤 透(雄山)

中田靖弘(八尾) 松本 健(富北)

大崎武治(富南) 河波 昇(芸芸)

和泉寛成(高南) 萬谷清澄(氷見)

松井文恵(福野) 森田喜邦(福光)

宮林文代(高岡支援)

清水好勝・上田晃嗣(事務局)

# 共学共育

—他校のPTA活動に学ぶ—

## \*魚津高校PTA\*

「生徒と語り合い、絆を深め合うPTA活動」

本校PTAの組織は、今年度は会長1名、副会長9名、研修委員5名、厚生委員5名、広報委員6名、会計監査3名と学年役員45名で構成しております。PTA総会は5月に学年別懇談会の前に開催しています。



研修委員会は大学見学会、秋の研修会を企画、運営します。今年、新潟大学へ行き、各学部の教授から詳細な説明を受けました。また本校卒業の現役大学生に受験から現在の大学生活、将来の夢など貴重な意見を聞きました。PTA研修会は3年生の保護者を対象と、1、2学年の保護者を対象とする研修会を企画しています。

厚生委員会は、「さわやか運動」の参加と生徒との懇話会「虹の会」の企画、参加をしています。「虹の会」とは生徒と保護者が共通の話題を共に考え、話し合う会で、年に1、2回開催しています。今年、「虹の会」の対象者を新川地区の高等学校に拡

大して、新川地区のPTA会長、高校生が集まり、開催しました。

今年度の虹の会では「東北の今を知ろう〜富山編〜」で、昨年度「東北の今を知ろう」プロジェクトでお世話になった気仙沼高校の生徒を新川地区に招待し、富山の文化に親しんでもらうとともに、活動を通して新川地区の生徒も地元文化に学び、故郷の良さを再発見するための企画をしました。8月7日から9日まで気仙沼高校生15名、新川地区の高校生35名(魚津高校生12名)、PTA20名で活動しました。高校生がグループごとに分かれ、新川地区の企業を訪問し、その活動を通して学んだ事を発表しました。活動を通して、これからの地域活性化における若者の役割を自覚しました。生徒同士が交流することで、お互いを知り、地元文化を改めて知ることとなりました。



広報委員会は広報誌「魚高通信」の年2回の発行をしております。

各委員会ではPTA活動により多くの保護者に参加できるように、副会長、各委員が協力しています。PTAの目的は、生徒が高校生活を有意義に送る環境づくりにあり、今後地域、家庭、高校が協力して取り組んでいきたいと思っています。

魚津高校PTA会長

石崎 清孝

## \*富山南高校PTA\*

「子どもの進路実現を支えるPTA活動」

本校PTAの役員組織は、会長1名、副会長6名、監事3名、ホーム委員37名から構成されています。各役員は、文化教養委員会・生活指導委員会・環境整備委員会・広報委員会のいずれかの専門委員会に所属しています。

役員選出にあたっては平成二十二年度より投票用紙による選出を改め、入学式後の新入生保護者懇談会で、保護者が互いに顔を合わせる中で各クラス2名ずつ選出し、原則3年間を通じて役員を務めます。選出の際には、各クラスに会長や副会長が付き、活動内容を説明したり、役員活動を通して子どもや学校への理解が深まった経験などを話します。その中で自ら役員に立候補する保護者も少なくありません。

本校PTAが最も関心を寄せているのは、子どもたちの進路実現に向けての「保護者としての関わり方」です。そのための取り組みとして、保護者に対する「進路説明会」を実施しています。1学年は「文・理・コース選択」2



学年は「進路意識を高めるための保

護者の役割」をテーマに10月に、3学年は「受験に向けての保護者の心構え」をテーマに5月(昨年度まで7月実施)に行っています。

また本校では、子どもたちが「将来の進路」を考えるための行事として「進路探訪」(1学年「社会人から学ぶ」・2学年「関東方面の大学・企業訪問」)を実施しています。特に1学年では、様々な仕事に携わる社会人を招き「分科会」形式で学んでいます。その講師として同窓生の他に本校保護者も協力しています。



さらに、本校は英語教育や国際交流に力を入れています。創校二十周年記念事業の一環として当時のPTA会長の提案により、平成二年度に始まったアメリカ合衆国での「海外研修」もその一つです。現在、本校が訪問し交流を続けているサンディギート高校の生徒たちも、一昨年、昨年と来日し本校生徒の家庭でホームステイをしました。協力した各保護者からは貴重で楽しい経験ができたとの声が多く届いています。

今後とも、子どもたちが進路を見据えながら充実した高校生活を送ることができるよう、PTAとしても支援していきたいと考えています。

富山南高校PTA会長

福島 修

＊氷見高校PTA＊

「絆を考えるPTA活動」

氷見高校PTAは、生徒生活指導委員会、広報委員会、保健体育委員会の専門委員会に加え、各学年委員会により活動しています。

生徒生活指導委員会では、「さわやか運動」を中心とする生徒の挨拶や服装のチェック、自転車や歩行中の「ながらスマホ」への注意などを徹底しています。

広報委員会では、年二回発行されるPTA会報「ゆずるは」の編纂を担当しています。また「氷高ホットメール」により、学校の行事や生徒に関する情報を常に保護者に発信しています。

保健体育委員会は、生徒たちの体調管理やAEDなどの操作について、専門医や救急隊員による講習会を開催しています。

各学年委員会は、生徒たちの勉学や学校生活などの状況について、保護者と情報の共有を図っています。また、各種研修会を通じて最近の就職・進学動向などにも関心・知識を深めてもらい、生徒とともに進路を考える環境を整えています。

最近の特色あるPTA活動としては、東日本大震災後の復興支援ボランティア活動が挙げられます。震災直後は募金活動を主として活動していましたが、被災地の復興が進まないことに疑問を感じた生徒たちから「被災地での復興活動に携わりたい」

との声が、生徒会を中心に、PTAに寄せられました。

氷見市のボランティアセンターの計らいで、震災が発生した夏、PTA役員、教職員、生徒20数名が、岩手県陸前高田市での瓦礫撤去作業に従事することになりました。



地元花巻の中学生との共同作業となり、生徒たちのエールの交換が新たな「絆」を紡いだ瞬間でもありました。その後、生徒たちは教材が不足していることを知り、新たな募金活動により小学校の家庭科授業で使うミシンを購入し、その年の暮れ、氷見漁協から頂いた「寒ブリ」五本とともに再び陸前高田市へと赴きました。生徒たちが捌いた「寒ブリ」の刺身を仮設住宅の皆さんにお配りしました。今年三月、厚生労働大臣より当校の支援活動に対し、氷見高校生徒会へ感謝状が送られました。



当時被災地まで赴いた生徒たちは既に卒業していますが、先輩たちの築いてくれた「絆」をより強く強いたため、在校生が考え始めています。今回も生徒たちの想いを叶えるため、PTAは全力で支援してまいります。

氷見高校PTA会長

萩山 峰人

新川地区指導者研修会

日時 6月18日(水)

会場 魚津高等学校

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

魚津高校 笠木敏弘副会長

第2分科会 進路指導とPTA

桜井高校 澤田正嗣副会長

第3分科会 生徒指導とPTA

雄山高校 石田裕伸副会長

講演 「歴史を変えた越中漂流民

～次郎吉に見る不屈の魂～」

滑川市教育委員長 辻沢賢信 氏

富山地区指導者研修会

日時 6月27日(金)

会場 富山中部高等学校

分科会と発表校

第1分科会 高校教育とPTA

富山高校 尾上一彦副会長

第2分科会 進路指導とPTA

富山工業高校 織田伸一 会長

第3分科会 生活指導とPTA

富山商業高校 新村知弘副会長

第4分科会 家庭教育とPTA

呉羽高校 伊勢呂孝史副会長

講演 「子どもの自立と自律

～社会へ出る前の子どもを支える～」

臨床心理士 根塚 明子 氏

高岡地区指導者研修会

日時 6月18日(水)

会場 ウイングウイング高岡

第1分科会 高校教育とPTA

高岡西高校 上森史久副会長

第2分科会 進路指導とPTA

高岡商業高校 野村竹伸副会長

第3分科会 生徒指導とPTA

高岡工芸高校 尾山晴康副会長

第4分科会 家庭教育とPTA

伏木高校 中瀬真明副会長

講演 「藩政時代から形成される

高岡の町づくり～古地図に見る高岡の町割り～」

高岡市立博物館 学芸員 藤井恵里 氏

砺波地区指導者研修会

日時 6月18日(水)

会場 福野文化創造センター

第1分科会 高校教育とPTA

砺波高校 水上幸俊副会長

第2分科会 進路指導とPTA

南砺福光高校 上田 孝会長

第3分科会 生徒指導とPTA

小矢部園芸高校 平田真一 会長

講演 「スキヤキ・ミーツ・ザ・

ワールドとは？」

スキヤキ実行委員長 橋本正俊 氏

# 北信越地区高P連 研究大会長野大会

平成26年度北信越地区高P連研究大会が「教育と考福」未来に引き継ぐ 知と恵み」をテーマに、7月3日・4日に長野市のホクト文化ホール他で開催され、北信越5県から会員1230名余、本県からは159名が参加しました。

1日目は開会式に続いて長野西高校バトン班と長野商業高校チアリーディング部による歓迎アトラクションがあり、分科会が行われました。



各分科会での本県発表者は次の方々です。

第1分科会（高校教育とPTA）

「魚津高校PTAの取り組み  
生徒たちの良きサポーター役としての活動」



魚津高校PTA副会長 笠木敏弘

第2分科会（進路指導とPTA）

「キャリア支援のためのPTA活動」



南砺福光高校PTA会長

上田 孝

第3分科会（生徒指導とPTA）

「本校の生徒指導とPTA活動」



富山商業高校PTA会長

新村知弘

第4分科会（家庭教育とPTA）  
「子どものケータイ事情を理解する取り組み」

大門高校PTA 会長 宮島靖之



2日目は、北野建設スキー部ゼネラルマネージャーの荻原健司氏による「人を育てる」スキー選手育成の現場から」と題する記念講演が行われました。「認めることが選手のモチベーションを高め、大きく育つ原動力になる。」など、子どもたちを育てる上での示唆に富んだ講演内容で、充実した一時を過ごしました。



閉会式では大会宣言を採択し、次年度開催県の石川県の館 清会長より、平成27年度は7月9日・10日に金沢市で開催する予定であり、多くの参加を期待しているとの挨拶があり、閉会となりました。

## 第64回全国高P連大会 福井大会

「教育と考福」未来に引き継ぐ 知と恵み」をテーマに、第64回全国高P連大会福井大会が、8月22日・23日にサンドーム福井をメイン会場に、全国から約1万人、本県からは136名が参加して開催さ



れました。茂木健一郎氏の基調講演、7会場に分かれての分科会、福井県立恐竜博物館特別館長の東 洋一氏による記念講演などが行われました。

22日には本県の教育懇談会があらわ温泉で開催され、125名が参加し親睦を深めました。

次年度の大会は平成27年8月20日・21日に盛岡市他で開催されます。

## 【参加者の声】

全国から約一万人もの子供達の健やかな成長と幸福を願う保護者が集い「教育と考福」をテーマに二日間に亘り盛大に開催され、我が富山県からも130名余りの熱心な会員の皆様が参加されました。

開会式の下村文部科学大臣の挨拶で、国の取り組みとして、教育委員会改革、大学入試改革や、世界に通用するグローバル人材育成に力を入れているとのお話がありました。また脳科学者の茂木健一郎先生による「今求められる幸福脳」

脳科学者からの提案」と題した基調講演があり、「欠点のそばに長所があるので、自分の欠点を含めて自分の個性として受け入れることで幸せになることができる。人間の脳は一生学び続けることができる。自分ができないと思っていたことができるようになった時にドーパミンが放出され幸福を感じることができると話されました。

二日間参加させて頂き大変貴重なお話をお聞きできたのも、やはり子供達のおかげであり感謝しつつ「親が頑張ら

なければ」と気持ちを新たにしたい大会となりました。今後も理屈抜きに全ては未来ある子供達のために。

南砺福野高校PTA会長 余西一広

## 平成26年度表彰

▼優良PTA文部科学大臣表彰

団体 桜井高校PTA

▼全国高P連大会会長表彰

団体 雄峰高校PTA

高岡高校PTA

個人 林 久嗣(前高P連副会長)

樹田隆一郎(前高P連副会長)

役員 毛利 一朗(前高P連会長)

▼北信越地区高P連表彰

毛利 一朗(前高P連会長)

長谷川 徹(前高P連副会長)

西能 徹(前高P連副会長)

竹中 敏一(前高P連会計監査)

谷口 克哉(前高P連会計監査)

## 編集後記

芦原温泉での教育懇談会には、沢山の参加があり有意義な時間を過ごすことができました。基調講演では、子供の良いところを見つけ、認め、助言して成長させることは大切だと感じました。日頃から心がけて行いたいと思います。終わりに会報第111号の発行に際し執筆と寄稿していただいた皆様

に感謝申し上げます。  
(会報編集委員長 山口 泰弘)